

別途本学所定の答案用紙			
有	B4	1人2枚	無
有	LS	1人1枚	無
有	マークシート	1人1枚	無
有	計算用紙	1人1枚	無

甲南大学試験用紙

--	--	--	--	--

試験科目	地方財政 I		
担当者	北野義幸		
実施日	1月30日	6	所要時間 60

(注意)

- ・年次、学部、学籍番号、氏名は所定の欄に必ず鉛筆以外のペンで記入すること。
- ・答案用紙はいかなる場合も試験場外へ持ち出してはならない。
- ・退場の際は必ず答案用紙を提出すること。

	年次			学部		
学籍番号						
氏名						
採点						

1. 以下の問いに答えなさい。市場において需要と供給が一致する価格と量の下で均衡が実現している経済を前提として生産と消費関数は次のように表せます。

$$Y (\text{供給}) = C (\text{消費}) + I (\text{投資}) + G (\text{政府支出})$$

$$C = C_0 (\text{基礎消費}) + c (\text{限界消費性向}) \times Y$$

ただし、閉鎖経済で海外取引は考慮せず、 T : 税とします。こうした経済下のある国の $A \cdot B \cdot C$ 時点の GDP (国内総生産) と消費に次のような関係があります。

year	A	B	C
GDP(兆円)	403	423	443
消費(兆円)	373	387	401

- (1) この国の限界消費性向を計算式とともに求めなさい。
 - (2) 前提としている経済で1兆円の政府投資が行われた場合の乗数効果を計算式とともに求めなさい。(小数点以下は四捨五入)
 - (3) 前提としている経済で1兆円の減税が行われた場合の乗数効果を計算式とともに求めなさい。(小数点以下は四捨五入)
2. 市場経済で需要側と供給側に租税が課される場合に生じる超過負担(死荷重)をそれぞれ図示して明らかにしなさい。

また、超過負担と租税原則の「中立性」、「公平性」の関係について「需要の価格弾力性」の視点から説明しなさい。



(注) 答案用紙はいかなる場合も試験場外へ持ち出してはならない。

別途本学所定の答案用紙			
有	B4	1人2枚	無
有	LS	1人1枚	無
有	マークシート	1人1枚	無
有	計算用紙	1人1枚	無

甲南大学試験用紙

--	--	--	--	--

試験科目	地方財政 I		
担当者	北野義幸		
実施日	1月30日	所要時間	60分

(注意)

- ・年次、学部、学籍番号、氏名は所定の欄に必ず鉛筆以外のペンのみで記入すること。
- ・答案用紙はいかなる場合も試験場外へ持ち出してはならない。
- ・退場の際は必ず答案用紙を提出すること。

学籍番号	年次				学部			
氏名								
採点								

3. 平均寿命の延びと出生率の低下の流れの中で年金を維持する課題を抱える世界各国では、年金を賦課方式か、それとも積立方式で運営されるべきか議論の的となっています。

賦課方式と積立方式の違いを単純化すると次のようなモデル式に表せます。

t 期に N_{-1} 人の高齢者と N_t 人の若年者が生存し、どの個人も 2 期間生存と仮定

(1) 賦課方式：t 期に若年者から保険料 τ タウを徴収し、高齢者に年金 b を給付

財政収支の均衡条件は、 $N_t \tau = N_{-1} b$ 給付と保険料の関係は、 $b = \frac{N_t}{N_{-1}} \tau$

これを人口成長率 n で表すと、 $N_t = (1+n) N_{-1}$ から $b = (1. \underline{\hspace{2cm}})$

給付と保険料の関係は (2.) に依存する。

(2) 積み立て方式：t-1 期に若年者から保険料 τ を徴収し、金利 r で運用して t 期に高齢

者に年金 b を給付。財政収支の均衡条件は、 $N_{-1} \tau (1+r) = N_{-1} b$

給付と保険料の関係は、 $b = (3. \underline{\hspace{2cm}})$ 。給付と保険料の関係は (4.)

に依存し、(2.) からは直施影響は受けない。

モデル式からは、将来の人口成長率と金利が大きな影響力を持つことが分かります。

上記のモデル式の () を埋め、日本のあるべき年金制度について、両方式のメリット・デメリットを踏まえ、現役世代と年金受給世代の人口構成比率や将来のインフレーション・積立金運用環境の変化等への対応を整理した上で、あなたのプランを述べなさい。

4. 教育の正の外部効果に対する考え方を整理した上で、大学教育の投資効果について生産性の向上や人生 100 年時代への対応といった観点から論じ、あわせてあなたの大学教育改革プランを述べなさい。



(注) 答案用紙はいかなる場合も試験場外へ持ち出してはならない。